

音モダチ・プロジェクト 被災地支援活動 2012/2/15-16

震災から11ヶ月。今回の支援活動は池田公生&お洒落倶楽部のメンバーで仙台の東北公済病院宮城野分院でのコンサートと埼玉県加須の元騎西高校に福島県双葉町から町ごと避難をしてきている皆様のところでの演奏をさせて頂きました。

東北公済病院宮城野分院は昨年4月の初めての東北訪問で塩釜に行った時にお会いした方の関係で演奏のご依頼を昨年秋から受けており、ようやく実現することが出来ました。

こちらの病院も地震により大変な被害を受けたそうで今だ工事中の箇所もありました。演奏をさせて頂いたりハピリ室では震災直後には200人もの方が不安な夜を過ごされたとの事でした。そこで、こうして演奏をさせて頂ける事、感慨深くありました。

コンサートには患者さんをはじめご家族の方、お医者さん、看護師さん、スタッフの皆さん、職員の皆さん、沢山の方がいらして下さいました。

おなじみの「銀色の道」「青葉城恋唄」をはじめ仙台の方から作詞頂いた「震災の街～未来（あす）は明るく」も演奏致しました。被災地支援の曲として一番はじめにできた「尊き愛の命の力」は被災地の方の目の前で歌うことはあまりできなかったのですが精一杯の想いを歌わせて頂きました。皆さんあの日の事は昨日のように思うほどだそうです。

ラストの「幸福になるための歌」では皆さん一緒に歌って下さったり手拍子をして下さいました。

終演後沢山の癒しと愛を頂きました、と代表の方からお言葉を頂きました。

やっと同じ事が出来て私たちもとても嬉しかったです。

ありがとうございました。



伺わせて頂いた公済病院宮城野分院



コンサートの様子です。

翌日は早朝に仙台を発ち、埼玉県加須に向いました。こちらには福島県の双葉町から町ごと避難をされています。元騎西高校では500名の方が避難生活を行っているとの事でした。寒い季節の避難所生活という大変な環境の中で、このところインフルエンザと胃腸炎が流行しているというお話を伺いました。

職員室は町役場に、各教室は皆さんの居住スペースに。外には簡易トイレやお風呂が設置されていました。皆さん日中はご用にお出されたりお子さんたちは学校へ行っているようでした。

私たちが演奏させて頂いたのは柔道場でした。様々なイベント等を行う場所になっているようです。

福島曲、懐メロ、オリジナル曲、心いっぱい演奏させて頂きました。先日福島の方からお送り頂いた詩に曲がつきお届けさせて頂きました。「ふくしまの四季は母」。福島の季節折々の情景がうたわれています。素晴らしい自然が教えてくれる故郷への想い、そして生きていくことへの祈り……。

このメッセージをたくさんの方に届けていきたいと思います。

鈴木千奈津さんのことをご紹介させて頂きご両親からお預かりしてきた詩集もお渡しさせて頂きました。

千奈津さんのメッセージも双葉町の皆さんに届けることができ良かったです。

お聴き下さっていた方ともお話を伺えました。皆さん様々な思いをもって避難生活を続けていらっしゃいます。

いつまで続くのか、今後どうなっていくのかわからない生活はどんなに不安な事でしょう。

私たちにできる事は皆さんに少しでも安らぎの時間をもって頂き、お気持ちを音楽とともに共有し、解放して頂ければと願っています。

また伺わせて頂きます。ありがとうございました。



双葉町の皆さんと。



会場は柔道場です。



がんばっぺ! ふくしま!!